

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス四日市芝田		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 4日		～ 2025年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 12月 5日		～ 2025年 1月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全職員が児童の課題を把握し、適切な支援が行えるようにしている	児童ごとの個別支援の課題を、毎日職員が目にするようなシステムにしている。(個別の記録票に印字) 児童本人も自分の課題を認識できるような工夫をしている(本人が取り組むべき課題を認識し選択する)。 帰りの会で自分の課題をみんなに評価してもらう	指導員の課題に対する取り組みを、より具体的に指導していく
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。	相談支援員と連携し、同時に開催したり、ZOOMを利用し時間効率をはかっている。	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民や学童、児童館とのかかわりが少ない	学童への移行の保護者ニーズがなく学童事態も空がない	児童館の有効活用による地域の子供達とのかかわりを増やす。家族ニーズがあれば学童への移行も踏まえた橋渡しをしていきたい
2	保護者会の開催がない。家族参加の研修会がない	駐車スペースの問題、開催時間等が課題。家族向けの研修会や講演があれば家族へ伝えるようにはしている	保護者からの開催ニーズがあれば行いたい。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信できていない。 避難訓練等実施していても保護者へ発信できていない	SNS等発信するツールがなく、連絡ノートへの記載のみで伝わらない	本年度から、不定期ではあるが、事業所通信を発信し、活動内容等を発信していく